

令和2年度第1回自動車整備士技能登録試験について

標記登録試験が、10月4日（日）振興会研修センターにおいて実施されました。

申請者数、受験者数は次のとおりでした。

種 目	申 請 者	受 験 者
二級ガソリン	2 3	2 3
二級ジーゼル	1	1
三級 シャシ	1	1
三級ガソリン	3 0	2 9
三級ジーゼル	1	1
合 計	5 6	5 5

低圧電気取扱特別講習会の報告について

標記講習会は、10月6日（火）振興会研修センターにて6名の受講者にて開催しました。

本講習内容を再確認し、安全第一を常に心がけ、今後の作業を行われるようお願いします。



= 業界情報 =

全国の整備相談所に寄せられた整備相談事例 Vol.106

【内容】オイル交換後、エンジンが焼き付き走行不能になった

・車名：軽自動車 　・登録年月：平成18年 　・走行距離：97,000km

令和元年7月、中古車販売店（S店）から中古車を購入。

8月16日、自動車用品店（O社）でETC取り付けを依頼した際、同時に無料の安全点検（日常点検相当）も実施してもらった。点検の結果、担当作業者から「オイルレベルゲージにエンジンオイルの付着が無く、オイルメンテナンスが悪い状態」であることを指摘され、「オ

「オイルラインクリーニング」を勧められて追加で実施した。（オイルラインクリーニング：通常よりも清浄作用の高い添加剤を配合したエンジンオイルを注入することで、走行しながらエンジン内部が綺麗になるという自動車用品店の商品で、作業料金は約8千円）

8月29日、高速道路を走行中、突然エンジンが停止して走行不能となった為、レッカー車で購入先であるS店に入庫した。S店が車両を確認したところ、エンジンオイルの残量が0.5Lほどしかなく、焼き付きによりエンジンが停止したものと判断した。また、エンジンオイルのドレンボルトが、締結状態から2.5回転ほど緩んでいたというので、駐車場にエンジンオイルのたれ跡はなかったか確認したが、たれ跡は確認できなかったとのこと。

S店は「8月16日のO社のオイルラインクリーニング作業時、ドレンボルトの締め付け不良によりエンジンオイルが徐々に漏れ出し、焼き付きに至ったものではないのか」と言っているらしい。（故障時の走行距離は約98,500kmで、O社の作業から約1,500km走行している）S店の見解を受けて、相談者がO社にエンジン焼き付きに至った経緯を説明し、故障の原因はO社の作業ミスと主張、修理代を負担して欲しいと要求したことであった。

一方、O社から車両を見せて欲しいとの要求があったが、車に詳しくないので、車両を購入したS店に間に入ってもらってO社との交渉を進めてもらいたいと考え、O社への入庫を断つた。このため、O社店長はS店に車両確認に出向き、その場でS店から再度「ドレンボルトが緩んでいた」との説明を受けた。

9月9日、O社店長から連絡があり、「ドレンボルトの締付け確認は二人の作業者で実施し、さらに作業指示書にも二人の締付確認のサインがあった為、当社の作業は問題なく行われ作業ミスなどは無く、修理代の負担には応じられない」との最終的な返答があった。また、O社から「第三者の悪戯によってドレンボルトを緩められたのではないか」というような態度をとられ、非常に不愉快な思いをした。

「社内的な書類である作業指示書のサインによって、ドレンボルトが正しく締め付けられていた」というO社の見解には納得がいかない。O社が作業は問題無かったと主張するのであれば、作業指示書のサイン以外の証拠（作業中の動画等）を示すように当会を通して伝えて欲しい」との依頼であった。

【対応】

振興会が相談に対処できる範囲を伝え、早速、苦情内容の事実関係を確認するため、O社に聞き取りを実施した。概ね相談者の説明の通りであったが、相談者からO社に度々電話がかかってきて、数時間に亘り電話対応を強いられることがあるため、対応に大変苦慮しているとのこと。

S店の言うようにボルトが緩んでいたのであれば、いつ、どこで、どの様にボルトが緩んだのか。O社での作業から故障発生まで13日間、その間に約1,500kmを走行しているが、締め付け不良があったならば、この間ボルトが脱落せずに、ボルトが緩んだ状態で滴下によりエンジン焼き付きに至ったことになる。

また、O社での安全点検では、オイルメンテナンス不良でオイル消費大の様相もみられたとのことで、中古車購入時から既にエンジンに不具合は無かったのかという疑問も残る。

この疑問点を相談者に説明したのち、我々は調査機関でないのでこれ以上は介入できない旨を伝えた。また、相談者の要望である「作業指示書のサイン以外の証拠（作業中の動画等）を、O社から提示できないのか」との問い合わせについては、O社から「会社としては、提示も開示もできない。誠意をもって対応している」との回答があった旨を伝えた。

相談者は当会以外に中古車販売店協会やO社のお客様相談センター、その他機関にも同様の相談をしているとのことで、法的措置も検討中だと言う。

その後、双方より連絡は無い。

ダイハツ・タント／スバル・シフォンなどのKF型エンジン搭載車

オルタネータ用Vリブドベルトの張力点検・調整時の注意

ダイハツ工業株式会社／株式会社 SUBARU

■オルタネータ用Vリブドベルト張力点検・調整時の注意

車両整備におけるオルタネータ用Vリブドベルトの調整作業において、ベルトの取付張力が不適切（過張力）な場合、ウォータポンプのベアリングが損傷し、異音やチャージランプ点灯に至る事例があります。Vリブドベルトの張力点検・調整時の注意事項を下記のようにご案内いたします。作業時には十分にご注意ください。

【注意事項】

- ① 車両整備時にサービスマニュアル記載の手順でVリブドベルトの張力点検をお願い致します。
(基準張力外の場合は、再調整をお願い致します。)
- ② ベルトの調整は、張力の基準値を確認の上、実施してください。

■オルタネータ用Vリブドベルト張力点検

今回は、簡単、便利で精度が高い張力計による点検方法をご紹介いたします。たわみ量による点検の場合や新品交換時の調整方法など、詳細はサービスマニュアルをご参照ください。

1. 張力測定器具

- ・張力測定する際は、リモートケーブルを取り付けたテンションゲージもしくは、音波式張力計を使用し、張力を測定する。



テンションゲージ
(デンソー品番：95506-00100など)



リモートケーブル
(デンソー品番：95506-10040)



音波式張力計
(ユニッタ製：U-505, 507, 508)

2.点検時の基準値

タント、シフォン等

エンジンタイプ (※)	ベルト張力 N {kgf}	備考
KF-VE、KF-VN、KF-VE2、KF-VE3、KF-DET、KF-DET2、KF-DET3	360～500 {36.7～50.9}	新品交換時の基準値とは異なりますのでご注意ください
KF-VE4、KF-VE5、KF-VE6、KF-VE7 KF-VET、KF-VET2 (オートテンショナ無し)	320～460 {32.6～46.8}	

※ 各車両のエンジルーム、もしくはセンターピラー貼付けのネームプレートにて、エンジンタイプを確認する。

ハイゼット、サンバー等

ベルト張力 N {kgf}	備考
320～460 {32.6～46.8}	新品交換時の基準値とは異なりますのでご注意ください

3. 張力測定

タント、シフォン等

- ・テンションゲージ：図1のAまたはBの位置にテンションゲージを取り付け、張力を測定する。
- ・音波式張力計：下表の各入力値を設定し、図1のAまたはBの位置中央部を測定する。

音波式張力計使用時の各入力値

エンジンタイプ	単位重量 (MASS)	スパン長さ (SPAN)	ベルト幅値 (WIDTH)
KF-VE	M=14.8gf/rib・m	A 部：175 mm B 部：121 mm	004.0 リブ数=4
KF-VE2～6、KF-VET、 KF-DET、KF-DET2、 KF-DET3、KF-VN	M=14.9gf/rib・m	A 部：175 mm B 部：121 mm	004.0 リブ数=4
KF-VE7、 KF-VET2 (オートテンショナ無し)	M=14.9gf/rib・m	A 部：176 mm B 部：116 mm	004.0 リブ数=4

ハイゼット、サンバー等

- ・テンションゲージ：図2のCまたはDの位置にテンションゲージを取り付け、張力を測定する。
- ・音波式張力計：下表の各入力値を設定し、図2のCまたはDの位置中央部を測定する。

音波式張力計使用時の各入力値

単位重量(MASS)	スパン長さ(SPAN)	ベルト幅値(WIDTH)
M=14.8gf/rib・m	C部：172mm D部：112mm	004.0 リブ数=4

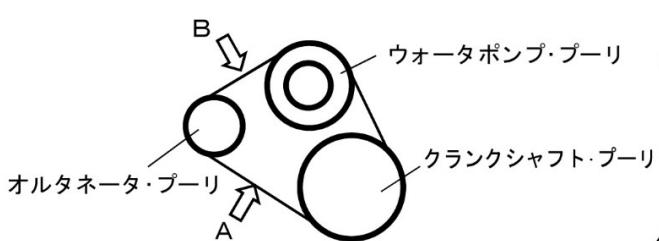


図1 タント、シフォン等

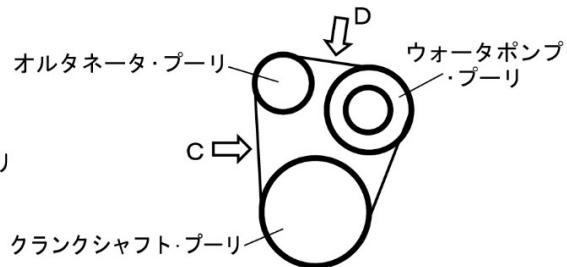


図2 ハイゼット、サンバー等

■KFエンジン搭載車両一覧

車名	車両タイプ	通称名	型式
ダイハツ	タント等	タント	L375S、L385S、LA600S、LA610S LA650S、LA660S
		タントエグゼ	L455S、L465S
		ムーヴ	L175S、L185S、LA100S、LA110S LA150S、LA160S
		ムーヴコンテ	L575S、L585S
		ムーヴキャンバス	LA800S、LA810S
		ミラ	L275S、L275V、L285S、L285V
		ミラココア	L675S、L685S
		ミライース	LA300S、LA310S、LA350S、LA360S
		ミラトコット	LA550S、LA560S
		エッセ	L235S、L245S
		ソニカ	L405S、L415S
		キャスト	LA250S、LA260S
		ウェイク	LA700S、LA710S
		ハイゼットキャディー	LA700V、LA710V
		コペン	LA400K
	ハイゼット等	ハイゼット	S201P、S201C、S211P、S211C、 S321V、S331V
		ハイゼットデッキバン	S321W、S331W
		ハイゼットトラック	S500P、S510P
		アトレーワゴン	S321G、S331G
スバル	シフォン等	シフォン	LA600F、LA610F、LA650F、LA660F
		ルクラ	L455F、L465F
		ステラ	LA100F、LA110F、LA150F、LA160F
		プレオ	L275F、L275B、L285F、L285B
		プレオプラス	LA300F、LA310F、LA350F、LA360F
	サンバー等	サンバー	S201J、S201H、S211J、S211H、 S321B、S331B
		サンバーオープンデッキ	S321Q、S331Q
		サンバートラック	S500J、S510J
		ディアス	S321N、S331N

四輪アライメント・テスタ利用申込書及び借用書

山梨県自動車整備商工組合 御中

「四輪アライメント・テスタ」下記利用要領について十分承知しましたので借用願います。

利用希望日	年 月 日 午前・午後		支部名	支 部
認証番号	8 -	事業場名	印	
使用者			TEL	()

車両情報

車両メーカー名		車 名	
初年度登録年月	年 月	型 式	
車台番号		エンジン型式	
グレード		車両データ	有・無 事務局記入欄

借り受けのテスタ等が、万が一不具合を生じた場合には、職員及び利用者と共に立会い確認し不具合部位修復に係る動産保険の保険免責費用10,000円は利用事業場が費用を負担することを承知します。

受付日	受付者	日程確認	受講確認	立会予定者	振興会確認	使用者確認
令和 年 /		令和 年 / 午前・午後	年 /			

スキャンツール利用申込書及び借用書

一般社団法人 山梨県自動車整備振興会 御中

品 名	ツール本体	日立 HDM3000 デンソーDST-2 インターサポート G-Scan 日本ベンチャーDT-3300				
	附属品類	取扱い説明書	ダイアグケーブル	データ取込用 CD		
使用日	令和 年 月 日 ()	～	令和 年 月 日 ()	まで		
<p>「貸出し注意事項」について十分承知いたしましたので、上記の機器を貸出し願います。</p> <p>なお、借り受けた機器本体を「故障」、「破損」、「紛失」させた場合は、免責費用を負担することを承知し、付属品も同様にした場合は、実費負担することを承知いたします。</p>						
支 部 名	支 部		認証番号	8 -		
事業場名						
事業主名	印	TEL	()			
(注) 貸出しについては基本的に事業主とします。事業主以外への貸渡しの場合は免許証の写しを頂きます。						

※事前に電話にて貸出し可能か確認願います。

※下記の注意事項を必ずご確認頂き、十分承知されてから上記枠内を記入し教育課へ仮申し込みのFAXをして下さい。

※教育課窓口にて借り受ける時に、本「申込書及び借用書」を提出して下さい。

教育課 TEL 055-262-4422 FAX055-263-4420

受付日	受付者	貸出日	貸出者	故障、欠品確認	受領日	受領者	故障、欠品確認
令和 年 /		令和 年 /			令和 年 /		

検査予約キャンセル状況(10月分)

10月分のキャンセル多発事業場はありませんでした。ご協力ありがとうございます。
引き続き、予約の申し込みとキャンセルには、十分なご配慮をお願いします。

なお、予約情報を共有し安定した予約制度とするため、検査前日の18時以前に予約が取り消された件数を掲載しています。安定した予約制度となるため、確実な予約を行うようご協力下さい。
10月分のキャンセル件数は次のとおりです。

(台)

普通車	254
軽自動車	943
合 計	1,197

= 統 計 =

普通車・軽自動車継続検査件数

9月

合 計		指 定						持 ち 込み					
		保 適		OSS		指定割合(%)	認 証		ユ ー ザ ー		持込割合(%)		
		件 数	割 合 (%)	件 数	割 合 (%)		件 数	割 合 (%)	件 数	割 合 (%)			
普通車	15,530	5,844	37.6%	5,351	34.5%	72.1%	3,460	22.3%	875	5.6%	27.9%		
昨年同月	15,640	7,084	45.3%	4,303	27.5%	72.8%	3,365	21.5%	888	5.7%	27.2%		
昨年同月増減	-110	-1,240		1,048			95		-13				
軽自動車	11,179	3,889	34.8%	2,837	25.4%	60.2%	3,556	31.8%	897	8.0%	39.8%		
昨年同月	11,391	6,165	54.1%	788	6.9%	61.0%	3,529	31.0%	909	8.0%	39.0%		
昨年同月増減	-212	-2,276		2,049			27		-12				
合 計	26,709	9,733	36.4%	8,188	30.7%	67.1%	7,016	26.3%	1,772	6.6%	32.9%		
昨年同月	27,031	13,249	49.0%	5,091		67.8%	6,894	25.5%	1,797	6.6%	32.2%		
昨年同月増減	-322	-3,516		3,097			122		-25				